

ブルンジ月報（2026年5月）

※以下は、ブルンジ主要メディア（RTNB、IWACU等）の記事取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のンダイシミア大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 3日、ガボン訪問。同国首都で行われたCité de la Démocratieの除幕式に出席。同建造物には国際会議場や迎賓館などの機能が備わっており、同除幕式には複数のアフリカ元首が参加した。
- 4日、モーリタニア大統領特使による表敬。サヘル地域の治安情勢やフランコフォニー国際機関（OIF）の事務局長選挙に立候補しているモーリタニア候補者への支持要請などが行われた。
- 7日、カキョミヤ国連常駐調整官率いる国連代表団による表敬。ブルンジがAU議長国を務めていることを念頭に、国連とAUの連携や協力の可能性について意見交換が行われた。
- 12日、ウガンダのムセベニ大統領の就任式出席。同大統領の指導力によるウガンダの経済発展を賞賛した。
- 15日、大統領府にて選挙関係者を集めた会議を実施。2027年5月に予定されている大統領選挙を平和裡に進めるよう、意見が交わされた。
- 25日、アフリカデー記念式典をブジュンブラにて開催。AU議長であるンダイシミア大統領は、アフリカ大陸が抱える諸課題に向き合っていく必要性を強調した。
- 29日、大統領府にてオナンガ・アニャンガAU代表部付国連事務総長特別代表、エル・アミネ・スエフAUC議長付官房長、カセヤAfrica CDC局長による表敬。カセヤ局長との間ではエボラ出血熱への対応について情報共有が行われた。

内政に関し、

- 28日、与党CNDD-FDDが祈祷集会を催し、地域情勢が混迷を極める中で国民の団結を呼び掛けた。ブルンジでは毎月最終木曜日に与党が主催する祈祷集会が行われる。

外交に関し、

- 25～27日、ンハホンフイエ首相はタジキスタンで行われた「第4回水と持続可能な開発に関するSOM」に出席。会合のマージンでは国立博物館の訪問や水力発電所の視察をこなした。

2. 経済

- 23日、ブジュンブラ県北西部のブキナニャナ郡で採掘された1,500トンのリチウム及びチタンが中国向けに輸出。採掘を手がけるのは半官半民企業のSONALEKで、輸出を監督したキベヤ産業大臣は、これら1,500トンの鉱物資源は手掘りで1ヶ月間かけて採掘されたことを明らかにしている。

(了)